

「いじめストップリーダー研修会」に参加して

1年2組 菅原大地

僕は、いじめストップリーダー研修会を終えて、学んだ事が2つあります。1つ目は、仲間と協力する事の大切さです。二日間で、仲間と協力できないとうまくいかない取組が色々ありました。例えば、野外炊飯ですが、役割分担をしっかりと行い、それぞれの役割に責任をもって取り組み、さらに困っている所を互いに助け合って作った結果、とても美味しくできあがりしました。片付けもみんなと協力し、素早くできました。朝食の準備や布団の片付け、その他にも色々と協力する場面があり、改めて仲間と協力する大切さを学びました。

二つ目は、自分の意思をしっかりと相手に伝える事の大切さです。みんなといじめを見て見ぬふりをする傍観者や、いじめをはやし立てる観衆について話し合いをしました。僕は自分の意思をしっかりと発表できました。そして、班のみんなと、しっかりと自分たちの意見をまとめる事ができました。とても自信がつかしました。

最後に、いじめ防止のためのPRビデオを作りました。僕の班は、劇をつくって撮影をしました。僕はこの手作りのビデオを仙台市内の中学生に見てもらって、改めていじめについて考えてもらい、いじめがなくなることを願っています。

「いじめストップリーダー研修会」に参加して

2年1組 浅野桃香

私は、夏休みの間に泉ヶ岳で「いじめをなくそう」というテーマで行われたいじめストップリーダー研修に学校代表として参加してきました。研修会では各グループに分かれて、実際にあったいじめや、起こりうるいじめについて話し合ったり、傍観者や観衆をなくすためにはどうすればいいのかなどを話し合い、いじめ防止PRを作成するという活動を行いました。

私がいたグループでは、いじめの具体例をもとに、原因について話し合いました。そしていじめが起こってしまうのは、人と人との間に見えない壁があり、その壁が先入観を生んでしまうことが、いじめにつながるのではないかと考え、まとめました。これまで私は、いじめは、いじめを行う人、される人、傍観者、観衆に分かれるものだとして理解していましたが、そのような人たちだけでなく、周りをみていなくて気がつかない人、あるいは気がつかないふりをしている人がいるんだということにも気づきました。そしていじめをなくすには、一人一人がきちんとした自覚をもって行動する事が大切なんだという事に改めて気づくことができました。

みなさんも、クラスや部活動などで、周りをしっかりとみて、自覚をもって行動するように心掛けてみてください。